

控えめで洗練されたIWCシャフハウゼンの モノプッシャー・クロノグラフ

堅牢で信頼性が高いだけでなく、非常に使い勝手に優れ、技術的に洗練された複雑機構。モノプッシャー・クロノグラフは、時計づくりに対するIWCシャフハウゼンの伝統的なものづくりのアプローチの顕著な一例となっています。

広く普及している複雑機構であるクロノグラフは、日常生活でも数えきれないほどの使い道があります。伝統的なデザインの機械式ストップウォッチは、ケース側面の2つのプッシュボタンで操作します。これに対し、モノプッシャーは、リュースに組み込まれた1つのプッシュボタンを使って、スタート、ストップ、リセットを行います。このソリューションは、技術的に創意工夫に富んでいるだけでなく、控えめでさりげないデザインを可能にします。

このIWC自社製ムーブメント、キャリバー 59360は、キャリバーファミリー 89000および69000のムーブメントと並んで、完全にシャフハウゼンで開発・製造された3つめのクロノグラフです。キャリバーファミリー 59000のムーブメントをベースとした手巻き式で、パワーリザーブは192時間に達します。その先駆けとなったのは、2014年に発表されたポートフィノ・ハンドワインド・モノプッシャー (Ref. 5151) でした。2020年には、モノプッシャーを備えた初のポルトギーゼであるポルトギーゼ・ハンドワインド・モノプッシャー「ローレウス・スポーツ・フォー・グッド」が発表されました。そして今、この独創的な機構によるクロノグラフ機能が、初めてビッグ・パイロット・ウォッチに備わることになりました。これがビッグ・パイロット・ウォッチ・モノプッシャー“プティ・フランス” (Ref. 515202) です。

モノプッシャー・クロノグラフの操作方法は、驚くほどシンプルです。プッシュボタンを1回押すと、クロノグラフ機構とベース・ムーブメントの四番車がおシレーティング・ピニオンを介して噛み合い、新しい計時がスタートします。2回目にプッシュボタンを押すと、ベース・ムーブメントからクロノグラフが切り離されます。計測された時間 (最長60分間) は、12時位置の積算計に表示されます。3回目にプッシュボタンを押すと、クロノグラフの秒針と分針がゼロ位置に戻ります。

IWCの他のクロノグラフと同様、個別の切り替え状態を制御するのは、コラムホイールです。この複雑なパーツは、チェスの駒のルークのような形をしており、2つの階層で機能します。キャリバー 59360のコラムホイールは特に大きく、その動きは透明な裏蓋から眺めることができます。プッシュボタンを操作するたびに、下の階層の歯車のシステムによってコラムホイールが1ポジション前進します。上の階層には6個の縦型のコラムが円形に並んで備わっています。各コラムとその間の凹部から、側面の3つのレバーが指示を読み取ります。レバーがコラム上に置かれているか、または凹部に落ちているかに応じて、異なる動作がスタートします。プッシュボタンが2つ付いたクロノグラフだと、針をリセットするのに少し時間がかかりますが、プッシュボタンが1つだと、「クロノグラフのスタート」、「クロノグラフのストップ」、「針のリセット」を何度でも繰り返し操作することができます。

ベース・ムーブメントの背後に取り付けられたモノプッシャー・モジュールは、スマートに配置された66個のパーツで構成された、精密工学の傑作です。クロノグラフを設計するにあたって課題のひとつとなるのは、スタート、ストップ、リセットするときに、個々のパーツに大きな力が加わることです。そこで、重量と慣性を最適化した、独特な形状の中間車が用いられています。これにより、クロノグラフの操作がテンプの振り角に及ぼす影響が可能な限り小さくなっています。中間車をはじめとするキャリバー 59360の重要なパーツは、いわゆるLIGAプロセスによって製造されています。LIGAは、フォトリソグラフィ、電気メッキ、微小成形をベースとしたプロセスで、これを駆使すると、従来の機械加工技術では達成できなかった高い寸法精度で、非常に複雑な形状のパーツを製造することが可能になります。

IWC シャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」を設立しました。彼が描いた夢は、先進的な米国の製造方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼はIWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、スイスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWC シャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーなどの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先駆者であり、チタンアルミやセラタニウム®などの先進的な素材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっています。華やかな装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思いは、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現しています。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

ビッグ・パイロット・ウォッチ・モノプッシャー
“プティ・フランス”の画像は、press.iwc.comで
ダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn [linkedin.com/company/
iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches